

A L P T 通信

令和2年度第9号
静岡県総合教育センター
アクティブ・ラーニングプロジェクトチーム



第2号に続き… いかにして子どもたちの学びを保障するのか？

休業中の遅れを取り戻したいけど、時間が足りない(-_-;) 夏休みまでの学習内容が十分にできなかった… 授業を効率よく進めるには、自分がしゃべり続けるしかないなあ

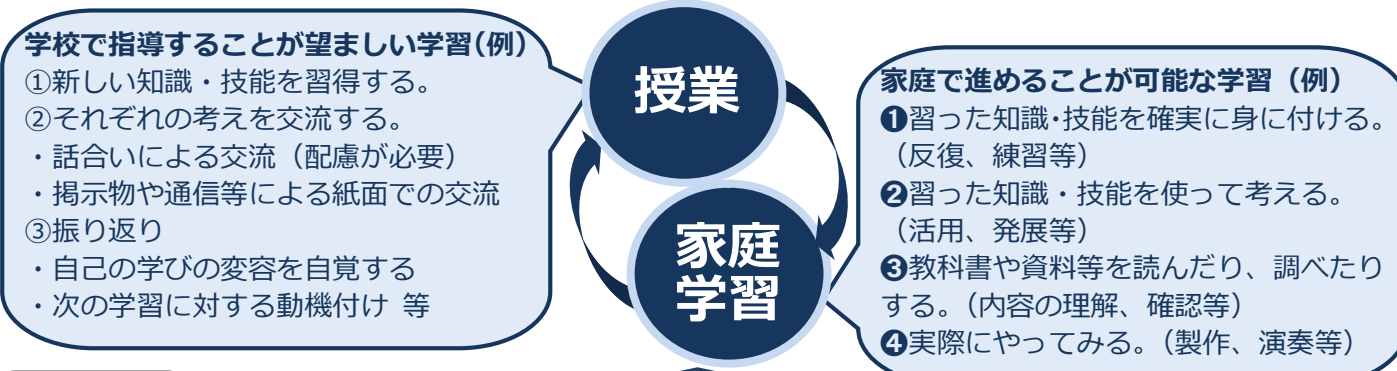
コロナ禍でこんな困り感はありませんか？

グループワークにすると時間がかかるから、この状況では無理！ 授業を進めてはいるけど、学習内容が定着していない！ 家庭学習を課しても、一人でできることには限界があるし…

限られた時間の中で、効果的に学習を進めるには？①

第3号・第4号では、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を促すICT活用について紹介しました。今回は、**授業と家庭学習のハイブリッド**による**学習活動の重点化**について考えていきます。

例えば、各学校の年間指導計画に基づき、「学校で行う学習」と「家庭で行う学習」を関連させた単元（題材）や本時の学習指導計画を作成することが考えられます。



こんな工夫が考えられます

単元の中で1時間分を家庭学習へ

第1時	解決したい課題や問い 課題や問いに対する自分の考えを書く。 教師の説明を聞く。	家庭学習
第2時	考えるための材料 資料を読み、書かれていることをまとめる。	
第3時	対話と思考 共有し、課題や問いに対する考えを深める。	家庭学習
第4時	学習の成果 全体で発表する。 課題や問いに対する自分の考えを再度まとめる。	

1単位時間の中の一部を家庭学習へ

第1時	解決したい課題や問い 課題や問いに対する自分の考えを書く。 教師の説明を聞く。	家庭学習
第2時	考えるための材料 資料を読み、書かれていることをまとめる。	家庭学習
第3時	対話と思考 共有し、課題や問いに対する考えを深める。	
第4時	学習の成果 全体で発表する。 課題や問いに対する自分の考えを再度まとめる。	家庭学習

3時間配当に短縮

- 単元の見通しをもった目標（付けたい力）の明確化と、目標に基づいた課題設定が重要です！
- ICTの効果的な活用も有効です。（第3号，第4号参照）

◆例えばこんな授業デザインが考えられます◆

<p>(例1) 小学校・音楽</p> <p>解決したい課題や問い 同じ旋律が何度も繰り返されているのに、曲から想像できる場面の様子がどんどん変化していくのはなぜだろう。</p> <p>考えるための材料 家庭学習 ・演奏場面の動画  ・「オーケストラの楽器紹介」動画</p> <p>対話と思考 ・動画の指揮者のまねをしてみたら、終わりに近づくにつれ、どんどん速くなっていくのがわかったよ。だから、追いかける緊張感が高まっていったんだ。→速度に着目して聴く。→イメージとつなげる。 ・速度だけでなく、強弱も変化していたよ。はじめはほとんど聞こえないくらいの小さな音で、真ん中は～で、終わりはかなり大きな音になっていたよ。途中のクレッシェンドで、何かが近づいてくる様子を表そうとしていたのかな。→はじめ・中・終わりが、どの部分なのかを確認し、強弱に着目して聴く。→イメージとつなげる。 ・場面ごとに楽器も変化していたよ。最初はオーボエが～</p> <p>学習の成果 ・曲を聴いて想像した場面の様子と、強弱、速度、音色を関連づけて、もう一度じっくり聴いてみよう。 家庭学習</p>	<p>(例2) 中学校・理科</p> <p>解決したい課題や問い Aさんの家庭の1ヶ月の電気代を〇〇円節約するためにはどのような方法があるか、提案しよう。</p> <p>考えるための材料 ・Aさんの家庭で使用する主な電気製品を示す資料 ・電力と電力量についての資料 ・電気料金表とその説明を示す資料 </p> <p>対話と思考 ・電気代を減らすには、消費する電力量を減らせばいい。 ・消費する電力量は、「電力(W)×時間(kWh)」で求められる。 ・△△の使用時間を□□時間短くすれば、●●円は節約できそう。 ・生活する上で△△の使用時間を□□時間短くするのは難しい。代わりに××の使用時間を■■時間短くすれば、◎◎円は節約できるだろう。</p> <p>学習の成果 ・△△の使用時間を◇◇時間、××の使用時間を▲▲時間減らせば、〇〇円の節約ができそう。 ・自分の家庭でどんな節約ができそうか、考えてみよう。 家庭学習</p>
<p>(例3) 高校・家庭/家庭総合</p> <p>解決したい課題や問い 台湾から訪日する高校生をもてなすための昼食会メニューを提案し、作ってみよう。</p> <p>考えるための材料 (エキスパート資料) 家庭学習 A どんな材料を使えばよいか？ 「和食」のよさを伝えられる食材は何か調べる B どんな味付けや調理法が適しているか？ 「和食」のよさを伝えられる調理法や調味料を調べる C おもてなしとしてどのような配慮ができるか？ 「和食」のよさを伝えるためにできる工夫を考える</p> <p>対話と思考  【エキスパート活動】(略) 【ジグソー活動】「生野菜を使わなければ、基本的にどんな食材でも食べてもらえそうだよ」「だしを生かせるメニューで、作れそうなものをたくさんあげてみよう」 【クロストーク】グループごとにメニューを発表し、そのように考えた理由を説明する。他のグループの提案を聞き、新たなアイデアや改善策が浮かぶ。</p> <p>学習の成果 (調理し、写真を提出) 家庭学習 【例】「「ぶりのてり焼き・すまし汁・ほうれん草のごま和え」(調理実習で作った献立をアレンジして、特徴的な和食のスタイルで、だしのうま味を味わえる3品にした。) ■ 1人1品調理し、撮った写真を使ってグループごとGoogleスライドにまとめて提出</p>	<p>(例4) 特支・体育(知的障害小学部2段階)</p> <p>解決したい課題や問い 例示された動きで構成されたダンスに自分の好きな動物の動きを入れて、音楽に合わせて楽しく踊ろう。 </p> <p>考えるための材料 ・子どもがよく知っている動物のイラスト ・動物の特徴的な動きを紹介<サル・ウサギ・鳥・ゾウ等></p> <p>対話と思考 ・「サル」の動きが楽しそうだな。やってみたい。 ・A君がやっている「ゾウ」が強そうで格好良いな。ぼくもやってみようかな。 ・家の人に見てもらったり、一緒に踊ったりしたい！ 家庭学習 ・私はウサギになったよ。踊るから見ていて。 ・お父さんの動きおもしろうだな。私もまねしてみようかな。学校での様子を家でも共有し、保護者との対話を通して新たな動きに気づく。</p> <p>学習の成果 家庭学習 ・友達や家族の動きから新しい踊りができたよ。 ・次は〇〇の動物に挑戦してみたいな。 自分で考えた踊りや家族の好きな動物になって、一緒に楽しく踊ろう！</p>

(今回は小中学校支援課・高等学校支援課・特別支援課が担当しました)